



再資源化システム導入から17年

～ビジョン:「Joy and Fun for All おもしろおかしくをあらゆる生命へ」の実現をめざして～

HORIBAでは、事業活動の各工程から発生する廃棄物量の削減および、最終埋め立て率を1%以下に抑えることを目標に掲げ、廃棄物3R推進の再生資源化システムを2008年より導入しています。



HORIBA分別工場

社内各職場に、“分別博士”と称するリーダーを設置し、より正しく迷いなく分別できる体制を整備。社内で

取り決めた分別ルールに基づいて計量し、データを保存した後、廃棄物ヤードに排出される不用品を、「廃棄物として排出されるもの」と「有価物として売却できるもの」に振り分けます。

有価物の売却にあたり、より細かな分別が必要な場合は、廃棄物の解体・分別作業を行う「HORIBA分別工場」に持ち込みます。

分別工場は解体業務を専門とする外部業

者に委託しており、常駐する数名の専門家により、機器類の解体と分別作業を行っています。

このように、不用品の解体・分別の精度を向上させることで、個々の素材、原料としての資産価値を見出し、廃棄物を不用品なものとして捨てるのではなく、資源素(有価物)として、正しく社会に循環させるシステムを構築しています。



プロによる分別作業



循環資源へ生まれ変わる



びわこ工場(大津市苗鹿)



株式会社堀場製作所(HORIBA, Ltd.)



住所:京都市南区吉祥院宮の東町2

TEL:075-313-8121(代表) FAX:075-321-8312 HP:<https://www.horiba.com>

創業:1953年1月 資本金:120億1千1百万円(2024年12月31日現在)

業種:自動車計測機器、環境用計測機器、科学計測機器、医用計測機器、半導体用計測機器の製造販売。分析・計測に関する周辺機器の製造販売。分析・計測に関する工事、その他の建設工事ならびにこれらに関する装置・機器の製造販売。



グループ総務センター
安全健康環境推進部
部長
富嶋 真二さん

様々な分析・計測技術システムをグローバルに展開するHORIBAグループの使命は、独自性の高い製品とソリューションの提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献することです。これからも、京都本社やびわこ工場(大津市苗鹿)をはじめ、全ての拠点で3Rの取り組みを推進し、環境保護と循環型社会の実現に貢献します。